

主なご意見	対応状況
<p>○基本理念と基本方針、施策の関係が分かりにくいので図を用いるなどして、読み手に分かり易く表現する工夫が必要ではないか。</p>	<p>○読み手に分かり易くなるよう、各基本方針の狙いや施策体系図を記載しました。今後も読み手に分かり易くなるように、表現の工夫を検討していきます。</p>
<p>○基本理念は、「自立」がキーワードになっており、「自立」が大事なのは分かるが、ヤングケアラーなど、簡単に自立できない状況の方もいる。第2期計画では共に生きる力を掲げているので、別な表現を考えるのはどうか。「自立」を使うのであれば、学びのセーフティネットの充実が必要。「自立」とあわせて、公正とか平等についても記載が必要だと思う。</p>	<p>○「自立」という表現については、社会的に子どもたちを含めて育てるという部分から掲げていきたいと考えていますが、ご意見を踏まえ、自立面だけでなく、セーフティネットの充実や、連携・協働して地域課題等の解決に取り組んでいく必要性について、記載しました。関連する施策は基本方針Ⅰ「学びのセーフティネットの充実」に記載しました。</p>
<p>○「自立して生きていく力を育む」ことを掲げることは賛成します。しかしながら、自立できずに苦しんでいる人たちもいます。その人たちに対する支援に触れることも大事だと思います。また、自立を掲げる際には、協働して課題等の解決にあたる重要性を掲げる必要があると思う。</p>	
<p>○第2章の社会環境の変化の感染症拡大のところで、「他者の感情や情緒を汲み取る力がより大切」と記載しているが、対面での交流が減少した際に、必要な力はそれだけではないし、感情や情緒を汲み取れば、非対面でのコミュニケーションが上手くいくわけではない。少し絞りすぎていて、誤解を招きかねない。他者の感情等を汲み取る非認知的な側面以外にも、論理的に発言するといった理性的なやり取りも必要である。理解するかつ自分が発信する感情などをきちんと伝える、変化に対応できる力などの表現でもよいかと思う。</p>	<p>○ご意見を踏まえ、「対面での交流機会が減少する中でも、多様な他者とともに問題の発見や解決に取り組む力がより大切」と修正しました。</p>

(仮称) 仙台市教育プラン検討委員会における意見への対応状況について

主なご意見	対応状況
<p>○学校教育に関する方針・施策の多さに違和感がある。教育行政の中心がそこにあるということなのでしょうが、バランスに欠けているように感じる。同様に、学校教育が中心になっていることから、方針が学校教育から始まっているのだと思う。例えば、基本方針Ⅴがはじめにきてもおかしくないと思います。学校・地域・家庭の連携や協働にかかわる方針や施策、例えば「地域とともに歩む学校づくり」「学校を核とした地域づくり」があって、学校教育、社会教育の方針や施策が出てくるという作り方もあろうかと思う。</p>	<p>○社会教育に関する方針Ⅳについては、学びや還元の場の充実のみならず、ライフステージに応じて、主体的に考え、行動してもらえるような取組みが重要であることから、「生涯にわたり誰もが主体的に自分らしく学べる機会の確保」と修正しております。また、基本方針Ⅴについては、学校、家庭、地域等の多様な主体が連携し地域づくりを目指していくことが重要であると考え「学びでつながり、愛着と絆を育む地域づくり」と修正しました。</p>
<p>○社会環境の変化の最初にSDGsが出ているが、それに対応する取組が少ない。最初に書くということは、課題認識があるということだと思うので、具体的取組を考えて行く必要があるのではないか。</p>	<p>○SDGsに関しては、地球規模の課題を身近なものとして捉えていく教育を更に推進することが重要だと考え、施策Ⅰ-2「SDGs教育の推進」に記載しました。また、社会教育での取組例などを施策Ⅳ-1に記載しました。</p>
<p>○with コロナ・アフターコロナにおいて、子どもの貧困率が再び上昇する可能性はあるのか？など、エビデンスからの課題対策ではなく、現状からの課題の予測と対策も視野に入れることが必要ではないか。</p>	<p>○コロナの影響などを含め、これから先の状況をできるだけ想定し踏まえたくうえで、施策展開を考えてまいります。</p>
<p>○施策Ⅲ-1は35人以下学級の実施としか書いていないのですが、いじめの件数の7割から8割近くは小学校で起きているということ、それから、中学校でのいじめは小学校に起因していることが多いと言われておりますので、そういった意味では、やはり、小学校での35人以下学級の実現も進めていく必要があるのではないか。</p>	<p>○35人以下学級については施策Ⅲ-4に掲載場所を変更するとともに、新型コロナウイルス感染症対策としての効果も期待されます。国では、令和3年度概算要求において少人数によるきめ細かな指導体制の計画的な整備が事項要求されておりますので、小学校における在り方の検討を進めていく旨を記載しました。</p>

(仮称) 仙台市教育プラン検討委員会における意見への対応状況について

主なご意見	対応状況
<p>○学校の役割、行政の役割だけでなく、地域や家庭の役割についても、記載する必要があるのではないか。</p>	<p>○第5章2「基本方針を進めるための各主体の役割」の中で、教育施策は社会全体で取り組んでいくこと、各主体に求められる役割について記載しました。</p>
<p>○学校教育が大切なのは分かるが、教員に与える役割が非常に多く書かれてしまうのではないのかという懸念をしている。子供を育てるという視点は大切だが、それだけではなくて、市民全体が育っていく、お互いに学び合っていくという視点が足りないのではないか。</p>	
<p>○第2期振興基本計画にあった仙台カラーに関する記述がない。必ずしも継承する必要はないが、継続性の観点から、どう整理したのかは示した方がいいのではないか。</p>	<p>○仙台カラーで掲げていた、命と心を守り育む視点や、震災の教訓を活かした防災教育、地域とともに歩む学校づくりといった、本市の特色については、第3章の中で記載し総括しております。仙台カラーの各重点施策については、各教育施策において継承していきたいと考えております。</p>